



羅臼町議会だより



しれとこ

第1回・第2回臨時議会	2
委員会構成	3
第2回定例議会	4
一般質問	5~8
Zoom up (現地視察)	9

平成27年

第145号

8月25日



還暦パワー全開 (知床開き)

平成27年 第1回・第2回臨時議会

5月8日、5月22日の両日、臨時議会が開かれ、一般会計の補正予算、特別会計の補正予算、条例改正や、副町長、町監査委員の選任が審議され、すべて原案通り可決された。

専決処分

平成26年度羅臼町一般会計補正予算

補正額 **2億7,476万円**

総務費	一般行政に要する経費	3億13万円
民生費	障がい者自立支援事業に要する経費	721万円
	特別会計繰出金に要する経費	531万円
衛生費	特別会計繰出金に要する経費	△4,789万円
土木費	町道の除雪に要する経費	1,000万円

平成26年度羅臼町国民健康保険事業特別会計補正予算

補正額 **4,789万円**

繰出金	国民健康保険診療所事業特別会計繰出金	4,789万円
-----	--------------------	---------

平成26年度羅臼町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算

補正額 **4,789万円**

繰入金	特別調整交付金（へき地診療所分）	4,789万円
-----	------------------	---------

一般会計

平成27年度羅臼町一般会計補正予算

補正額 **2,816万円**

社会福祉費	各種福祉館管理に要する経費	2,473万円
教育費	中学校の管理に要する経費	246万円
社会教育費	公民館管理運営に要する経費	97万円

平成27年度羅臼町国民保険事業特別会計補正予算

補正額 **1,298万円**

繰入金	財政調整基金繰入金	1,298万円
-----	-----------	---------



・羅臼町副町長の選任につき同意を求める。
鈴木 日出男氏



・羅臼町監査委員の選任につき同意を求める。
鹿又 政義議員

人事案件

・羅臼町町税条例の一部を改正する条例
・羅臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

条例関係

委員会構成 決定



副議長
佐藤 晶



議長
村山 修一



委員
佐藤 晶
(当選 6 回)



委員
宮腰 實
(当選 3 回)



委員
松原 臣
(当選 6 回)



副委員長
高島 譲二
(当選 3 回)



委員長
小野 哲也
(当選 4 回)

総務民生常任委員会



委員
村山 修一
(当選 6 回)



委員
加藤 勉
(当選 1 回)



委員
鹿又 政義
(当選 6 回)



副委員長
田中 良
(当選 3 回)



委員長
坂本 志郎
(当選 4 回)

経済文教常任委員会

議会議員
高島 譲二
議会議員
小野 哲也
議会議員
佐藤 晶
議会議員
村山 修一

根室北部廃棄物処理区域連合

議会議員
田中 良
議会議員
坂本 志郎
議会議員
佐藤 晶
議会議員
村山 修一

根室北部消防事務組合

議会議員
高島 譲二
議会議員
小野 哲也
議会議員
佐藤 晶
議会議員
村山 修一

根室北部衛生組合

委員長
坂本 志郎
副委員長
小野 哲也
委員
田中 良
委員
松原 臣

議会運営常任委員会



議会議員
鹿又 政義

羅臼町監査委員

監事
加藤 勉
監事
高島 譲二
副会長
鹿又 政義
会長
坂本 志郎

羅臼町議会議員会

平成27年 第2回定例議会

6月25日、第2回定例議会が開かれた。一般質問、繰越明許費、一般会計の補正予算、条例制定など、すべて原案通り可決した。



豪雪により倒壊した知松福祉館



シルバーいきがいセンター
現在、就労支援B型事業所「とっどる」
の野菜づくりに利用

1. 平成26年度からの繰越明許費		64,564千円
総務費	テレビ中継局整備事業	15,481千円
	地域創生先行型交付金事業	30,418千円
商工費	地域消費税喚起・生活支援型交付金	18,665千円

2. 平成27年度羅臼町一般会計補正予算

補正額	26,804千円	総額	36億2,060万円
総務費	その他一般行政に要する経費		1,050千円
	自治会に要する経費		2,500千円
	北方領土返還啓発事業に要する経費		333千円
	税務一般事務に要する経費		426千円
民生費	臨時福祉給付金に要する経費		3,733千円
	各種福祉館管理に要する経費		932千円
	シルバーいきがいセンターに要する経費		640千円
	子育て世帯臨時特例給付金に要する経費		2,459千円
衛生費	葬斎場、霊園管理運営に要する経費		260千円
	乳幼児医療費事業に要する経費		960千円
	北方領土隣接地域振興事業に要する経費		1,128千円
	海獣被害防止に要する経費		499千円
商工費	公園管理に要する経費		165千円
	温泉供給に要する経費		8,075千円
教育費	小学校の管理に要する経費		1,234千円
	幼稚園の管理に要する経費		1,315千円
	公民館管理運営に要する経費		216千円
	体育館管理運営に要する経費		879千円

見書
へ
の
支
援
措
置
に
関
す
る
意
見
書

- 平成二十七年発生の暴風雪による農業用施設被害への支援措置に関する意見書

- 羅臼町議会傍聴規則の一部を改正する規則制定について
- 羅臼町議会傍聴規則の一部を改正する規則制定について

議員発議関係

- 羅臼町議会会議規則の一部を改正する規則制定について
- 羅臼町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

条例関係等

- 羅臼町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例



(種苗センター) 修学旅行生徒視察研修

行政の考えを問う

平成27年6月定例議会 一般質問

平成二十七年第二回定例議会は、改選後初議会、新人一名を含め四名で十二件の一般質問があり、町の財政運営、障がい者対策、ハイヤー・タクシートの存続問題、人口減少対策、新教育委員会制度等々、新町長に、考え方やその対応と方向について答弁を求めた。

宮腰議員
羅臼町内におけるハイヤー・タクシー事業の存続について

町長
今後とも営業が存続されることを望んでいる

宮腰 實議員



質問

我が町も徐々に高齢化が進み、通院や買物にも住民の移動手段として、ハイヤー・タクシーの必要性が増してくると考えます。また、大型宿泊施設が町中心部から離れている事もあり、羅臼を訪れる観光客にとっ

ても大切なものとなっております。しかし、その存続を危ぶむ声も聞かれます。利用客が少ないことが、経営を難しくしています。運行状況の改善を求める事も大切ですが、経営の安定のため、商工会、観光協会などを巻き込み、利用客増加に向け、町が橋渡しをしてあげては如何でしょうか？介護関係の有償運行も大きな原因の一つとなっております。介護保険の適用とならない高齢者の皆さんに、ハイヤー利用割引券を配布できないでしょうか？このことにより、高齢者の積極的な購買力も期待できますし、安心して免許証の返納が出来る

来ます。原資は、町長が強く押し進めようとしておられる「ふるさと納税」に求められたならば如何でしょうか？

湊屋 町長

数年前から利用客が激減し、会社経営が困難になってきたと伺っております。町民並びに来訪者の移動手段として大切なものであり、対応に苦慮しております。町の経済状況も、大きく影響していると思われま

す。今後とも良い形で営業が存続される事を望んでおります。



自家用車も利用できなくなったら？



議員 坂本 町財政状況の認識と今後の財政運営の考え方は

町長 限られた財源で身の丈に合った財政構造を構築する

坂本 志郎議員



五パーセントまで引き下げると約三億円生まれる。町長は「身の丈に合った財政運営を目指す」と述べられたが、どのように進めるのか。

湊屋 町長

町の財政状況は極めて弾力性のない窮屈なものになっている。町税については公平・公正な徴収事務を進めながら更なる歳入確保のため「ふるさと納税」を実施する。安定した財政運営を継続させるためには、特に義務的経費の約五十一パーセントを占める人件費について短期的・長期的な観点から改めて検討する。

質問 鋼根管内の中で歳入に占める人件費と義務的経費の割合は羅臼町が一番高い。人件費の割合は、別海中標津・標津三町平均で十・八パーセント、羅臼町は二十三・四パーセント（額で八・七億円）、義務的経費の割合は、三町平均で三十二・五パーセント、羅臼町は四十一パーセントです。人件費を三町平均の十

質問

所得税法では、障がい者・寡婦・勤労学生といった特別の事情を抱える人を対象にした「特別人的控除」が認められている。障がい者控除では、障がい者手帳の発行を受けている人が該当し、二十七万～四十万円の控除が受けられる。障がい者手帳を持っていないとも「要介護認定」を受け、障がいの程度が障がい者に準ずる「六十五才以上」の方も市町村長の「認定」を受

要介護者への「障がい者控除認定書」発行で税の軽減対策を

坂本議員

障がい者控除認定の対象者は、合計200人です。今後、きめ細かい周知方法を検討する。

町長

ければ控除の対象になる。羅臼町の対象者は二〇〇人いるとの事だがこの認定書を活用し、税の控除を申告したのは15人、多くの該当者は、町の制度内容周知不足のため、資格があっても申請しておらず、結果として税を多く納めている。今年度の対応については、まず介護認定に合わせて控除対象の方に申請書を送付し、申請により障がい者控除が認められた人には翌年度から認定書を自動発行する事、そして確定申告や年末調整の時、この認定書を必ず添付する事を周知すべきである。



就労支援センター「とっどる」による野菜づくり



就労支援センター「とっどる」による出店

坂本議員その他の質問

- 産業振興の考え方
- 国保税軽減対策
- 老朽化した町営住宅対策
- 人口減対策と少子高齢化対策
- 福祉灯油の申請率向上対策

加藤議員 当町の人口減少問題の取組について

町長 加藤 勉 議員
地方版総合戦略を策定する



加藤 勉 議員

湊屋 町長

質問

昨年五月、民間研究機関「日本創生会議人口問題検討部会」が二十才から三十九才の女性の減少率から、今後三十年間で消滅する可能性のある自治体を発表しました。当町は根室管内で最も高い減少率となることから、人口減少による影響とその対応策について伺いたい。



人口減少による影響は、労働力不足による地域産業の低迷や税収の減少による公共サービスの低下等、地域の疲弊が考えられます。現在進めております人口ビジョンの策定にあたっては人口動向を分析し、将来人口推計を盛り込んだ人口ビジョンの策定と併せて、地域の特色や資源を活かし地域内雇用の創出や、交流人口の拡大、子育て支援等新しい人の流れをつくることを目標とした「地方版総合戦略」を今年度中に策定してまいります。

新教育委員会制度について

加藤議員

教育長

町長と教育委員会で「総合教育会議」を設置し「教育の大綱」を策定する



質問

本年四月から新教育委員会制度が発足しましたが、旧教育委員会と異なる点および総合教育会議の構成メンバーと役割、町長部局での所管部局について伺いたい。

山崎 教育長

平成二十六年六月、地方教育行政の組織および運営に関する法律の一部改正により四月一日から新教育委員会制度が施行され、町長と教育委員会の連携の強化、教育委員長と教育長を一本化し任命責任を明確化した点。

町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」の設置により「教育の大綱」の設定、「教育の諸条件整備」「児童生徒の生命・身体保護等緊急の場合に講ずべき措置」が協議・調整事項となっており、町長が公の場で教育政策について議論することや町長と教育委員

会が協議・調整することにより、一致して執行にあたることを可能にした。今後「総合教育会議設置要項」を定めていく。



羅臼小学校校舎での「放課後児童クラブ」



八木浜福祉館での子ども支援センター兼子育て支援センター「おりんこ」

田中議員 まちづくりの基本姿勢基本方向 について

町長 羅臼町の未来を自分達で考え実践する創造会議と協力隊を設置し進める

田中 良議員



六項目を示されたが、平成二十七年における最優先項目はあるのか。

湊屋 町長

これからの羅臼町の未来を自分たちで考え、実践すると共に、七つの「K」を

質問

まちづくりの基本姿勢について「知床らうすの未来を考えるアンダー60創造会議」と「知床らうすの未来を支えるオーバー60協力隊」を設置して登録と後援をしていくとの事ですが、その方々を見出すためには、行政としてどのような施策を講じるのか。まちづくりの基本方向に

頭文字にした行動目標を掲げ活動することで、町づくりへの参加意欲と自主性、公共性のもと、新たなリーダーが現れることを期待するものであり、参加資格は60歳以下の町民、もしくは羅臼町をこよなく愛してくる方々であれば、どんなでも登録することが出来ます。今後は町政日より等その他に、町づくりのリーダーとして活躍ができると思われる方や、期待できる方などに対しては、直接登録のお願いをすることも考えて



中高一貫教育

いる。

「未来を支えるオーバー60協力隊」につきましては、助言・提言を頂くと共に若い世代の応援団として「後援」頂き、共に活躍「協働」し、経験に裏付けされた良き習慣、歴史や技術、知恵などを継承して頂きたい。基本方向の六項目につきましては、いずれも羅臼町の町づくりを進めて行く中で、欠かすことが出来ない重要な項目であり、町民の皆様「幸福」を感じてもらえるために、全ての項目を充実させ推進していくことが基本的な考えである。

田中議員 教育大綱について

教育長 学校と家庭、PTA、地域の連携を進めていく

質問

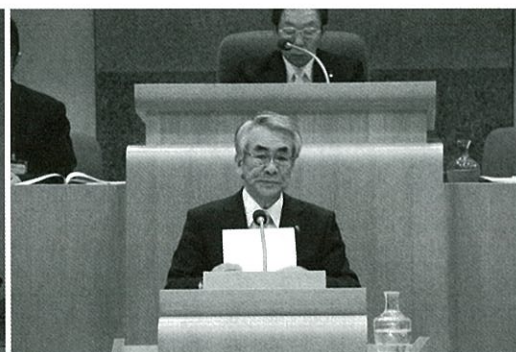
新教育委員会制度がスタートし、教育行政の重点施策である「教育大綱」の策定を進めるとの事ですが、その中に羅臼町の特徴を盛り込んで行く事と思いますが、教育長の考える執行方針について伺います。

山崎 教育長

当町の実情に応じ、振興のための施策に関する基本的な計画を定めて参ります。現在、幼小中高一貫教育を推進しております。また、全校がユネスコスクールとして登録されており、ユネスコの進めるESDの推進にも取り組んでいるところです。生涯学習の観点から子どもの育ちを考えますと、学校と家庭・PTAがしっかりと連携することは勿論、これからは地域の連携が絶対必要ではないかと思いますので、関係団体に協力をお願いしております。



ユネスコスクール研究発表会



Zoom Up!

幌萌地区に、大規模な地滑りと海底隆起！



幌萌町地滑りと海底隆起現場

去る四月二十四日夕刻、「海岸が隆起している！」との通報が住民から役場に届いた。現地確認の結果、町道幌萌四号線を含む長さ三〇〇メートル、幅二五〇メートルに及ぶ地滑りと、海岸線に、長さ三〇〇メートル、幅四十メートルの海底隆起が認められた。

町役場には、「幌萌地先災害対策本部」が設置され、近辺への立ち入り規制や関係機関による観測、調査、監視が開始された。また、五月一日には、全議員による現地視察も行われた。



町議会議員による現場視察

幸いにして、人的被害はなく、釧路開発建設部からは、国道三三五号への影響はないとの報告がなされた。対策本部は、

地滑り災害対策連絡室と改称され、海岸への土砂流出防止や被災箇所を観測、ボーリング調査、ひずみ計による調査等を北海道が行っている。

現在も崩落現場、現場海岸への立ち入り禁止が継続中である。

議会の動き

5月

- 1日 議員協議会
- 7日 全員協議会
- 8日 第1回臨時町議会
- 18日 根室町村議会議長会定期総会（中標津町） 正・副議長
- 19日 議会運営委員会
- 20日 経済文教常任委員会・総務民生常任委員会
- 21日 全員協議会
- 22日 第2回臨時町議会
- 23日～25日 東京らうす会第19回総会（東京都） 議長
- 25日～28日 町村議長・副議長研修会（東京都） 正・副議長
- 30日 羅臼神社鎮座120年式年大祭・記念式典
- 31日 羅臼消防団春季総合訓練大会

6月

- 1日 第1回根室北部消防事務組合議会臨時会（中標津町）
- 第1回根室北部廃棄物処理広域連合議会臨時会（中標津町）
- 第1回根室北部衛生組合議会臨時会
- 4日 全員協議会
- 5日 根室地方総合開発期成会定期総会（根室市） 議長
- 10日 羅臼町議会議員OB会総会
- 16日 議会運営委員会
- 21日 第54回知床開き（千人踊り）参加
- 22日 経済文教常任委員会
- 23日 総務民生常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 第2回定例町議会・議会運営委員会

7月

- 4日 知床国立公園50周年・世界遺産10周年記念式典・講演会（斜里町）
- 7日～8日 北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市）
- 13日 議会だより編集特別委員会
- 13日～16日 根室地方総合開発期成会要望活動（札幌市・東京都） 議長
- 16日 議会だより編集特別委員会
- 22日 根室地方林活議連役員会及び総会（中標津町）
- 23日～24日 北海道町村議会議長会主催町村会新任議員研修会（帯広市）
- 31日 第16回釧根林活議連絡会議（釧路市）

8月

- 3日～5日 ロシア連邦トロール船操業の即時停止に係る要請活動 議長
- 9日 第3回 羅臼町社会福祉大会

今年から編集メンバーが変わりました。選挙後、初めての仕事ですが、前任者の議会だより同様、多くの町民皆様に愛され、読んで頂ける様な紙面作りに全員で頑張ります。今回は、高島委員長が病氣入院中のため三人での編集となりました。

編集を終えて



編集委員 新メンバー決まる



議会だより
編集特別委員会
委員長 高島 讓二
副委員長 鹿又 政義
委員 宮腰 實
加藤 勉

北海道町村議会議員研修会（札幌市）

去る七月七日、羅臼町議会議員九名が札幌コンベンションセンターで研修を受けた。

会場には町村議員約二千名の参加者が有り、熱気にあふれていた。講師は二名、「地方議会を取り巻く最近の動向」を演題として、中央大学名誉教授 今村都南

雄氏と、「これからの政局・政治動向」を演題に、テレビ朝日コメンテーター 川村晃司氏である。

今村氏は、地方議会の役割・注目されるべき「地方議会」・試されている地方議会の対応能力など、今後の議会のあるべき姿について。また、川村氏は外交、



いっても言及され、大変参考になった。

政治経済に強いコメントレーターとして活躍中という方で、現在の政治状況を組み入れた話や、町村議会のあり方につ